



MailSuite ユーザーズマニュアル

(SPAM 設定編)

Version 3.1.4

最終更新日 2015年10月01日

株式会社クオリティア

〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町3丁目11番10号

PMO 日本橋茅場町

TEL:03-5623-2576 FAX:03-5623-2569

<http://www.QUALITIA.co.jp/>

QUALITIA © 2015

目次

1. はじめに.....	3
2. 正規表現式とは？.....	3
2.1. 正規表現式の設定.....	3
3. SPAM 遮断設定.....	5
3.1. 送信者.....	5
3.2. メッセージ.....	7
3.3. 添付ファイル.....	11
4. 例外処理設定.....	14
4.1. 送信者.....	14
4.2. メッセージ.....	16
5. 環境設定.....	19
5.1. 管理者が設定したメッセージフィルタ使用の選択.....	19
5.2. SPAM メール自動判定フィルタ使用の選択.....	19

1. はじめに

このたびは MailSuite をお選び頂きありがとうございます。

本書では MailSuite の SPAM 設定メニューのご利用方法についてご説明いたします。

2. 正規表現とは？

2.1. 正規表現の設定

MailSuite では、[SPAM 遮断設定 >> メッセージ] や [SPAM 遮断設定 >> 添付ファイル] と、設定した各フィルタの例外処理に対して、正規表現を用いて文字列中のパターンを分析して SPAM メールとして処理できるフィルタ設定をサポートしています。

※[SPAM 遮断設定 >> 送信者] と [例外処理設定 >> 送信者] ではワイルドカードを用いたフィルタ設定をサポートしていません。

2.1.1. 正規表現とは？

ファイル、または文字列内に含まれている特定のパターン（または、特定の条件を満たす文字列）を検索するため、予め定義されている多様な特殊文字 (metacharacters) を組み合わせたものを正規表現 (regular expression) と言います。

MailSuite は、このような規則を用いてより多様なフィルタ条件設定をサポートしています。

次の例を参考にして、正規表現による SPAM メール遮断ルールの追加設定に使用してください。

2.1.2. MailSuite でサポートしている特殊文字 (metacharacters) の一覧と使用例

特殊文字	内容及び使用例
^ (caret)	ラインの先頭、または文字列の先頭を表します。 例) ^広告 (文字列の先頭に広告を含む条件を検索)
\$ (dollar)	ラインの末尾、または文字列の末尾を表します。 例) 広告\$ (文字列の末尾に広告を含む条件を検索)
. (period)	空白 (SPACE) を含めた任意の1文字を表します。 例) 広告 ("広*告、広-告、広_告、広_告" のように文字の間に一つの文字が含まれた条件を検索)
[] (bracket)	括弧で囲まれた文字のいずれかを表します。"- " で文字の範囲を指定することができます。 例) [広告] (広 または 告) [0-9] (任意の数字1文字) [a-z] (英字1文字) ※MailSuite の正規表現では、半角英字の大文字と小文字は区別しませんので、この設定で大文字・小文字の両方を表します。

	<p>[^a-z0-9] (英字・数字以外の文字を検索)</p> <p>※[] の中の冒頭に ^ (caret) を書くと、指定した文字以外という意味になります。</p>
{ } (brace)	<p>{ } の直前の文字が指定された回数だけ繰り返されるパターンを表します。</p> <p>例 a{3} ('a' が 3 回繰り返された 'aaa' を検索)</p> <p>a{3,} ('a' が 3 回以上繰り返されるパターンを検索)</p> <p>a{3,5} (aaa, aaaa, aaaaa だけを検索)</p> <p>[0-9]{2} (2桁の数字を検索)</p>
* (asterisk)	<p>"*" の直前の文字が 0 個以上続くパターンを表します。{0,} と同じです。</p> <p>例 a* (何もないもの、a、aa、aaa、...を表す)</p> <p>.* (直前の文字が '.' であるため、0 文字以上の任意の並びを表す)</p> <p>広.*告.* (「広」と「告」の間に任意の文字列を含むパターン、および間に何もない「広告」を表す)</p>
+ (plus)	<p>"+" の直前の文字が 1 個以上続くパターンを表します。{1,} と同じです。</p> <p>例 a+ (a、aa、aaa、...を表す)</p> <p>.+ (直前の文字が '.' であるため、1 文字以上の任意の並びを表す)</p> <p>広.+告 (「広」と「告」の間に任意の文字列を含むパターンを表す)</p>
? (question)	<p>"?" の直前の文字があるか、またはないかのいずれかを表します。{0,1} と同じです。</p> <p>例 ab?c (abc、ac のいずれかを表す)</p> <p>.? (直前の文字が '.' であるため、そこに何かの文字があるか、あるいは何もないかを表す)</p> <p>広.?告 (広*告、広_告、広 告、広_告のように「広」と「告」の間に 1 文字を含むパターン、および間に何もない「広告」を表す)</p>
() (parenthesis)	<p>"()" は、正規表現内でパターンをグループ化するときに使います。</p> <p>例 女性(会員)?募集 ("女性会員募集" または "女性募集" を示す)</p>
(pipe)	<p>" " は、前後に記述した正規表現のどちらかに一致させたいときに使います。</p> <p>例 (男性 女性)会員 ("男性会員" または "女性会員" を示す)</p>
<> (不等号)	<p>弊社独自の書式で、単語の先頭、末尾を表します。</p> <p>例 <aaa> ("aaa" という単語は該当するが、"aaab" や "caaa" などには該当しない)</p>
¥ (backslash, yen)	<p>上記の特殊文字を普通の文字として使いたいときに、前に '¥' を置きます。</p> <p>例 ¥[広告¥] (角括弧で囲まれた [広告] を表す)</p> <p>¥[¥(¥{] ('[', '(', '{' の中のどれか一つを表す)</p> <p>aaa¥? (aaa?を表す)</p>

3. SPAM 遮断設定

3.1. 送信者

3.1.1. SPAM 遮断設定 >> 送信者

SPAM メール送信者の IP と Domain / Email を登録して SPAM メールを遮断する機能です。

3.1.2. 遮断フィルタールの追加

遮断する IP、または Domain / Email を登録します。

3.1.2.1. 遮断 IP の追加

SPAM 遮断設定 >> 送信者 >> “IP 遮断”タブを選択して、拒否したい IP の情報を入力してから[追加]ボタンをクリックします。

SPAM遮断設定 >> 送信者

IP遮断 Domain/Email

遮断IP追加 [追加] 検索 内容

選択削除 全体削除 選択ON 選択OFF 表示するリスト数 --

<input type="checkbox"/>	使用	接続遮断IP	説明	登録日	修正	削除
<input type="checkbox"/>	on	10.20.30*		2011/01/17	[修正]	[削除]
<input type="checkbox"/>	on	50.60.70.80		2011/01/17	[修正]	[削除]
<input type="checkbox"/>	on	100.200.100.200		2011/01/17	[修正]	[削除]

Total: 3 移動

3.1.2.2. 遮断 Domain / Email の追加

SPAM 遮断設定 >> 送信者 >> “Domain / Email”タブを選択して、拒否したいドメイン、メールアドレスの情報を入力してから[追加]ボタンをクリックします。

送信者のドメイン名で SPAM メールを遮断したい場合は、“***@ドメイン名**”のように「@」マークの前に必ず「*」を入力して追加してください。

例えば、spam.co.jp から送られてくるメールを遮断したい場合は、“***@spam.co.jp**”のように設定してください。

SPAM遮断設定 >> 送信者

IP遮断 Domain/Email

Domain/Emailの追加 [追加] 検索 内容

選択削除 全体削除 選択ON 選択OFF 表示するリスト数 --

<input type="checkbox"/>	使用	Domain/Email	説明	登録日	修正	削除
<input type="checkbox"/>	on	spamer@example.co.jp		2011/01/17	[修正]	[削除]
<input type="checkbox"/>	on	*@spam.co.jp		2011/01/17	[修正]	[削除]

Total: 2 移動

3.1.2.3. ワイルドカードの使用

IP、ドメイン、メールアドレスをフィルタルールとして使用する場合、次のようにワイルドカードを利用して登録することができます。遮断設定及び例外処理のフィルタを設定する際に参考にしてください。

1. 不特定の文字列を使用する場合

sex*.com

sexworld.com, sexpia.com のように sex で始まり、.com で終わるすべてのドメインを設定することができます。

2. 不特定な一つの文字を使う場合

sex?.com

sex0.com ~ sex9.com と sexa.com ~ sexz.com, sexA.com ~ sexZ.com のように範囲をもつドメインを設定することができます。

3. 特定範囲を対象にして設定をしたい場合

123.456.78.[0-9]

123.456.78.0 ~ 123.456.78.9 までの IP を設定することができます。

sex.[a-z].com

sex.a.com ~ sex.z.com までのドメインを設定することができます。

3.1.3. 遮断フィルタの修正

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録情報を修正することができます。

また、遮断フィルタを一時的に使用しない場合、フィルタ使用の可否を“使用しない”に設定してください。

設定後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。

リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の可否を変更することもできます。



接続遮断IP	10.20.30.*
説明	
フィルタ使用の可否	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 使用しない

修正 取消 閉じる

3.1.4. 遮断フィルタの削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。
各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。
[全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

● SPAM遮断設定 >> 送信者

<input type="checkbox"/>	使用	接続遮断IP	説明	登録日	修正	削除
<input type="checkbox"/>	on	10.20.30.*		2011/01/17	<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="削除"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	on	50.60.70.80		2011/01/17	<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	on	100.200.100.200		2011/01/17	<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="削除"/>

3.1.5. 遮断フィルタの検索

検索する項目を選択してからキーワードを入力した後、(🔍)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィルタの検索結果が表示されます。検索結果後、(🏠)をクリックするとリスト画面に戻ります。

3.2. メッセージ

3.2.1. SPAM遮断設定 >> メッセージ

メール件名、本文、本文中に含まれている URL、メールヘッダの情報を検索し、特定の文字列が含まれているメールを SPAM として処理する機能です。

すべてのメッセージフィルタは、遮断のための検索する範囲が違うだけで、追加・修正・削除の方法は同一です。

3.2.2. 遮断フィルタルールの追加

メール件名、メール本文、本文 URL、メールヘッダの中で、フィルタの設定を行うタブを選択して登録します。フィルタ種類で“一般式”を選択した場合は、フィルタ/条件の右側にあるプルダウンから条件(“が含まれる”以下)も選択してください。追加後でもリストから各フィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、フィルタ種類とフィルタ/条件を変えることができます。

3.2.2.1. メール件名

メールの件名に含まれているテキストを検索して、指定した特定の単語や文字が含まれている場合にそのメールを SPAM メールとして処理します。SPAM として遮断したいメールの件名によく使われる単語や文字を入力した後、[追加]ボタンをクリックしてください。

3.2.2.2. メール本文

メールの本文に含まれているテキストを検索して、指定した特定の単語や文字が含まれている場合にそのメールを **SPAM** メールとして処理します。**SPAM** として遮断したいメールの本文によく使われる単語や文字を入力した後、[追加]ボタンをクリックしてください。

3.2.2.3. 本文 URL

メールの本文中に含まれている URL 情報を検索して、指定した特定の単語や文字が URL に含まれている場合にそのメールを **SPAM** メールとして処理します。

SPAM として遮断したいメールの本文中に含まれている URL によく使われる単語や文字を入力した後、[追加]ボタンをクリックしてください。

例えば、**porno** という単語を追加した場合、**porno** という単語を含む URL 情報(<http://example.porno.co.jp> など)が本文中に含まれているメールはすべて **SPAM** として処理します。

3.2.2.4. メールヘッダ

メールヘッダの情報を検索して、設定したフィルタルールと一致する場合にそのメールを **SPAM** メールとして処理します。次のようにヘッダ項目をプルダウンメニューから選択し、その下の空欄に **SPAM** として遮断したいメールのメールヘッダに含まれている情報を入力した後、[追加]ボタンをクリックしてください。プルダウンメニューから“直接入力”を選択した場合のみ、右側の空欄にヘッダの種類を直接入力してください。

SPAM遮断設定 >> メッセージ

条件	種類	登録日	修正	削除
と一致	一般式	2011/01/17	修正	削除
	正規式	2011/01/17	修正	削除
が含まれる	一般式	2011/01/17	修正	削除

3.2.3. 遮断フィルタの修正及び高度な設定

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録内容を修正することができるだけでなく、正規表現式を利用した高度な設定と例外処理に対する設定を行うことができます。

3.2.3.1. 修正及び設定

下記のような内容に対して修正及び設定ができます。

変更内容をすべて入力した後、[設定]ボタンをクリックして変更した内容を保存します。



>> フィルタ種類

フィルタの追加後に一般式になっている設定方式を正規表現式に変更することができます。
正規表現式の使い方は、「2. 正規表現式とは？」を参考にしてください。

>> フィルタ条件

追加したフィルタの内容を修正することができます。
フィルタの内容に対する条件をプルダウンメニュー（が含まれる、と一致 など）の中から指定して変更することができます。

>> フィルタ使用の設定

フィルタを一時的に使用しない場合、フィルタ使用の設定を“OFF”に変更してください。
変更後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。
リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の設定を変更することもできます。

3.2.3.2. 例外処理

設定した各フィルタルールに対して該当するメールがあった場合、**SPAM** として遮断せずにメールの受信を許可する機能です。次の事項を参考にして、例外処理ルールの追加と修正を行ってください。

修正及び設定 **例外処理**

例外処理

フィルタ区分 TEXT(メール件名) 送信者(IP/Domain/Email)

表示するリスト数 --

<input type="checkbox"/>	例外フィルタ	条件	説明	種類	修正
<input type="checkbox"/>	例外	が含まれる		一般式	<input type="button" value="修正"/>
<input type="checkbox"/>	xxx@example.co.jp				<input type="button" value="修正"/>

Total: 2

>> 設定例

例外処理の設定方式は、テキストと送信者情報(IP/Domain/Email)に区分されます。

例えば、メール件名で“無料”というフィルタが設定してある場合、例外処理のテキストに“例外”を、メールアドレスに“xxx@example.co.jp”のように設定します。

メール受信の際、件名に“無料”という文字が含まれているすべてのメールは遮断しますが、その中で件名に“例外”という単語が含まれていたり、送信者のメールアドレスが“xxx@example.co.jp”の場合には、メールの受信が正しく行われます。

>> 追加

フィルタ区分から“TEXT”または“送信者(IP/Domain/Email)”を選択して、例外処理したい内容を入力した後に[追加]ボタンをクリックします。

>> 修正

例外処理のリストから修正したい例外フィルタの[修正]ボタンをクリックします。

フィルタ区分、フィルタ種類、フィルタ条件などの変更したい内容をすべて入力した後、[修正]ボタンをクリックします。

>> 削除

例外処理のリストから削除したい例外フィルタにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。

[全体削除]は、登録されているすべての例外フィルタを削除する機能です。

また、例外処理をしているフィルタルール自体の削除を行った場合、同時に例外フィルタは削除されます。

3.2.4. 遮断フィルタの削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。

各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。

[全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

3.2.5. 遮断フィルタの検索

検索するキーワードを入力した後、(🔍)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィルタの検索結果が表示されます。検索結果後、(🏠)をクリックするとリスト画面に戻ります。

3.3. 添付ファイル

3.3.1. SPAM 遮断設定 >> 添付ファイル

メールに添付されているファイルの拡張子とファイル名を検索して、一致する条件がある場合にそのメールを SPAM として遮断する機能です。

3.3.2. 遮断フィルタルールの追加

3.3.2.1. 添付ファイル拡張子

遮断したい添付ファイルの拡張子を入力します。

例えば、次のように **exe** と登録した場合、添付ファイルの拡張子が **exe** であるメールは **SPAM** として処理します。

● SPAM遮断設定 >> 添付ファイル

The screenshot shows the 'SPAM Blocking Settings >> Attachments' page. It has two tabs: 'Attachment Extension' (selected) and 'Attachment Name'. Under 'Attachment Extension', there are radio buttons for 'General' (selected) and 'Regular'. A search box is on the right. Below, there's a 'Filter/Condition' field and an 'Add' button. At the bottom, there are buttons for 'Select Delete', 'All Delete', 'Select ON', and 'Select OFF', along with a 'Show List Count' dropdown. A table lists the current rule:

使用	ファイル拡張子	条件	種類	登録日	修正	削除
<input type="checkbox"/>	exe	が含まれる	一般式	2011/01/17	修正	削除

At the bottom right, it shows 'Total: 1' and a 'Move' button.

3.3.2.2. 添付ファイル名

添付されているファイル名をフィルタルールとして設定することができます。

次のように、**SPAM** として処理したい添付ファイル名を入力した後、[追加]ボタンをクリックします。

フィルタ種類で“一般式”を選択した場合は、フィルタ/条件の右側にあるプルダウンから条件(“が含まれる”以下)も選択してください。

● SPAM遮断設定 >> 添付ファイル

The screenshot shows the 'SPAM Blocking Settings >> Attachments' page with the 'Attachment Name' tab selected. The 'Filter/Condition' field contains 'virus'. A dropdown menu is open, showing options: 'が含まれる' (highlighted), 'が含まれない', 'と一致', 'と一致しない', 'で始まる', 'で始まらない', 'で終わる', and 'で終わらない'. The 'Add' button is visible to the right of the dropdown.

3.3.3. 遮断フィルタの修正及び高度な設定

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録内容を修正することができるだけでなく、正規表現式を利用した高度な設定と例外処理に対する設定を行うことができます。

3.3.3.1. 修正及び設定

下記のような内容に対して修正及び設定ができます。

変更内容をすべて入力した後、[設定]ボタンをクリックして変更した内容を保存します。

修正及び設定		例外処理
修正		
フィルタ種類	<input checked="" type="radio"/> 一般式 <input type="radio"/> 正規式	
フィルタ/条件	exe	が含まれる
フィルタ使用の設定	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF	

が含まれる
が含まれない
と一致
と一致しない
で始まる
で始まらない
で終わる
で終わらない

設定 閉じる

>> フィルタ種類

フィルタの追加後に一般式になっている設定方式を正規表現式に変更することができます。
正規表現式の使い方は、“2. 正規表現式とは？”を参考にしてください。

>> フィルタ条件

追加したフィルタの内容を修正することができます。
フィルタの内容に対する条件をプルダウンメニュー(が含まれる、と一致 など)の中から指定して変更することができます。

>> フィルタ使用の設定

フィルタを一時的に使用しない場合、フィルタ使用の設定を“OFF”に変更してください。
変更後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。
リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の設定を変更することもできます。

3.3.3.2. 例外処理

設定した各フィルタルールに対して該当するメールがあった場合、**SPAM**として遮断せずにメールの受信を許可する機能です。次の事項を参考にして、例外処理ルールの追加と修正を行ってください。

修正及び設定 例外処理

例外処理

フィルタ区分 TEXT 送信者 (IP/Domain/Email)

表示するリスト数 --

<input type="checkbox"/>	例外フィルタ	条件	説明	種類	修正
<input type="checkbox"/>	xxx@example.co.jp				<input type="button" value="修正"/>
<input type="checkbox"/>	例外	が含まれる		一般式	<input type="button" value="修正"/>

Total: 2

>> 設定例

例外処理の設定方式は、テキストと送信者情報 (IP/Domain/Email) に区分されます。

例えば、添付ファイル名で“virus”というフィルタが設定してある場合、例外処理のテキストに“例外”を、メールアドレスに“xxx@example.co.jp”のように設定します。

メール受信の際、添付ファイル名に“virus”という文字が含まれているすべてのメールは遮断しますが、その中で添付ファイル名に“例外”という単語が含まれていたり、送信者のメールアドレスが“xxx@example.co.jp”の場合には、メールの受信が正しく行われます。

>> 追加

フィルタ区分から“TEXT”または“送信者 (IP/Domain/Email) ” を選択して、例外処理したい内容を入力した後に[追加] ボタンをクリックします。

>> 修正

例外処理のリストから修正したい例外フィルタの[修正]ボタンをクリックします。

フィルタ区分、フィルタ種類、フィルタ条件などの変更したい内容をすべて入力した後、[修正]ボタンをクリックします。

>> 削除

例外処理のリストから削除したい例外フィルタにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。

[全体削除]は、登録されているすべての例外フィルタを削除する機能です。

また、例外処理をしているフィルタルール自体の削除を行った場合、同時に例外フィルタは削除されます。

3.3.4. 遮断フィルタの削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。

各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。

[全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

3.3.5. 遮断フィルタの検索

検索するキーワードを入力した後、(🔍)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィルタの検索結果が表示されます。検索結果後、(🏠)をクリックするとリスト画面に戻ります。

4. 例外処理設定

4.1. 送信者

4.1.1. 例外処理設定 >> 送信者

送信者のIPとDomain/Email情報が設定した条件と一致する場合、SPAM遮断設定と関係なく、そのメールの受信を許可する機能です。

4.1.2. SPAM拒否設定の例外処理との違い

SPAM遮断設定の各フィルタルールで行った例外処理は、該当フィルタルールだけに対して受信を許可しますが、例外処理設定の場合は、SPAM遮断設定のすべてのフィルタルールに優先して適用される White List の概念です。

つまり、SPAM遮断設定の各フィルタルールに対する処理を行わずに、メールを受信したい場合に条件を追加してください。

4.1.3. 例外処理の追加

SPAM遮断設定の各フィルタルールの処理をせずにメールの受信を許可するIP、またはDomain / Emailを登録します。

4.1.3.1. 例外処理IPの追加

例外処理設定 >> 送信者 >> “IP例外”タブを選択して、メールの受信を許可したいIPの情報を入力してから[追加]ボタンをクリックします。

例外処理設定 >> 送信者

IP例外 Domain/Email

例外IP追加 追加

検索 内容 🔍

選択削除 全体削除 選択ON 選択OFF 表示するリスト数

<input type="checkbox"/>	使用	例外処理IP	説明	登録日	修正	削除
<input type="checkbox"/>	on	10.2030.*		2011/01/17	<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	on	100.200.100.200		2011/01/17	<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="削除"/>

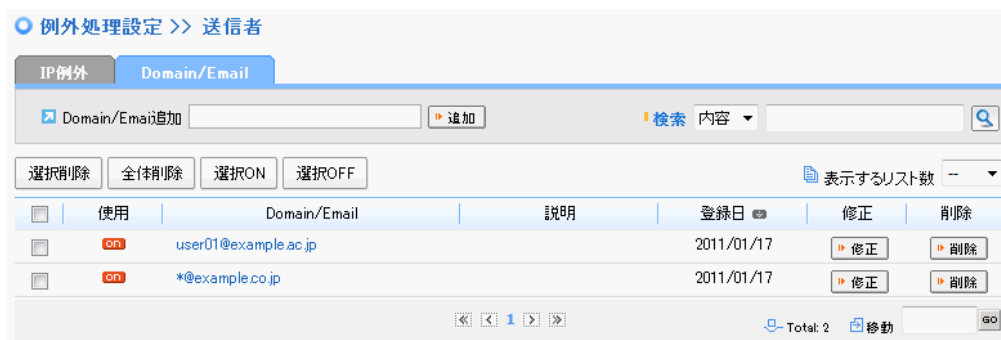
◀ 1 ▶ Total: 2 移動 go

4.1.3.2. 例外処理Domain / Emailの追加

例外処理設定 >> 送信者 >> “Domain / Email”タブを選択して、メールの受信を許可したいドメイン、メールアドレスの情報を入力してから[追加]ボタンをクリックします。

送信者のドメイン名でメールの受信を許可したい場合は、“*@ドメイン名”のように「@」マークの前に必ず「*」を入力して追加してください。

例えば、example.co.jp から送られてくるメールを受信したい場合は、“*@example.co.jp”のように設定してください。



4.1.3.3. ワイルドカードの使用

IP、ドメイン、メールアドレスを例外処理のフィルタルールとして使用する場合、次のようにワイルドカードを利用して登録することができます。遮断設定及び例外処理のフィルタを設定する際に参考にしてください。

1. 不特定の文字列を使用する場合

sex*.com

sexworld.com, sexpia.com のように sex で始まり、.com で終わるすべてのドメインを設定することができます。

2. 不特定の文字を使う場合

sex?.com

sex0.com ~ sex9.com と sexa.com ~ sexz.com, sexA.com ~ sexZ.com のように範囲をもつドメインを設定することができます。

3. 特定範囲を対象にして設定をしたい場合

123.456.78.[0-9]

123.456.78.0 ~ 123.456.78.9 までの IP を設定することができます。

sex.[a-z].com

sex.a.com ~ sex.z.com までのドメインを設定することができます。

4.1.4. 例外処理の修正

リストから修正したいフィルタルールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録情報を修正することができます。また、例外処理のフィルタを一時的に使用しない場合、フィルタ使用の可否を“使用しない”に設定してください。設定後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。

リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の可否を変更することもできます。

* 例外処理の修正

WEB MAILSERVICE

例外処理IP	<input type="text" value="10.20.30.*"/>
説明	<input type="text"/>
フィルタ使用の可否	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 使用しない

4.1.5. 例外処理の削除

リストから削除するフィルタルールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。
各フィルタルールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。
[全体削除]は、登録されているすべてのフィルタルールを削除する機能です。

● [例外処理設定 >> 送信者](#)

選択削除	使用	Domain/Email	説明	登録日	修正	削除
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	user01@example.ac.jp		2011/01/17	<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="削除"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	*@example.co.jp		2011/01/17	<input type="button" value="修正"/>	<input type="button" value="削除"/>

4.1.6. 例外処理の検索

検索する項目を選択してからキーワードを入力した後、(🔍)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィルタの検索結果が表示されます。検索結果後、(🏠)をクリックするとリスト画面に戻ります。

4.2. メッセージ

4.2.1. 例外処理設定 >> メッセージ

メールの件名、本文、ヘッダ情報を検索して、登録した内容が含まれている場合、SPAM 遮断設定と関係なく、そのメールの受信を許可する機能です。

例えば、例外処理設定のメール件名に、“例外処理”という単語を登録すると、メール件名に“例外処理”が含まれているメールはすべて受信します。

4.2.2. SPAM 拒否設定の例外処理との違い

SPAM 遮断設定の各フィルタルールで行った例外処理は、該当フィルタルールだけに対して受信を許可しますが、例外処理設定の場合は、SPAM 遮断設定のすべてのフィルタルールに優先して適用される **White List** の概念です。

例えば、SPAM 遮断設定 >> メッセージ >> メール件名に“広告”と“無料”というフィルタルールを設定し、リストの“広告”のフィルタに対して[修正]ボタン >> 例外処理タブで“許可”という単語を例外処理として登録します。そして、例外処理設定 >> メッセージ >> メール件名に“例外処理”という単語を登録した場合、次のように処理されます。

メール件名	メールの受信可否
広告許可メールです。	受信
無料許可メールです。	受信しない
例外処理の無料メールです。	受信
(広告)例外処理の新製品案内	受信
(広告)新製品案内	受信しない

4.2.3. 例外処理の追加

メール件名、メール本文、メールヘッダの中で例外処理設定するタブを選択して、例外処理追加欄に受信を許可する内容を入力した後、[追加]ボタンをクリックします。



メールヘッダの例外処理設定は、例外処理追加欄のプルダウンメニューからヘッダ項目を選択し、その下の空欄に受信を許可する内容を入力してください。プルダウンメニューから“直接入力”を選択した場合のみ、右側の空欄にヘッダの種類を直接入力してください。

○ 例外処理の設定 >> メッセージフィルタ

メール件名	メール本文	メールヘッダ			
<input checked="" type="checkbox"/> メールヘッダの例外処理追加					
直接入力	X-xxx.xxx	検索			
example		追加			
選択削除	全体削除	選択ON 選択OFF			
表示するリスト数 -					
使用	内容	説明	登録日	修正	削除
<input checked="" type="checkbox"/>	From: user01@example.co.jp		2011/01/17	修正	削除
Total: 1			移動	go	

設定後、届いたメールに例外処理設定で登録した内容が含まれる場合には、SPAM 遮断設定として登録したフィルタールの処理を行わずに受信します。

4.2.4. 例外処理の修正

リストから修正したいフィルタールの[修正]ボタンをクリックすると、該当フィルタに対する登録情報を修正することができます。設定後、リストの該当フィルタの使用欄に[OFF]と表示されます。

リストから該当フィルタの使用欄の[ON]、[OFF]をクリックすることで、フィルタ使用の可否を変更することもできます。



内容	例外処理
説明	
フィルタ使用の可否	<input checked="" type="radio"/> 使用 <input type="radio"/> 使用しない

修正 取消 閉じる

4.2.5. 例外処理の削除

リストから削除するフィルタールールにチェックを入れた後、[選択削除]をクリックしてください。

各フィルタールールの右端の[削除]ボタンからも削除することができます。

[全体削除]は、登録されているすべてのフィルタールールを削除する機能です。

4.2.6. 例外処理の検索

検索するキーワードを入力した後、(🔍)をクリックすると、検索キーワードが含まれるフィルタの検索結果が表示されます。

検索結果後、(🏠)をクリックするとリスト画面に戻ります。

5. 環境設定

5.1. 管理者が設定したメッセージフィルタ使用の選択

管理者が設定したメッセージ(キーワード)フィルタを使用するかしないかを選択してください。

管理者がキーワードを登録できるフィルタの種類は、件名、本文、本文に含まれる URL、ヘッダ、添付ファイル名、添付ファイルの拡張子になります。「使用する」を選択した場合、届いたメールが管理者が登録したキーワードとフィルタの種類が一致すると、SPAM フォルダに保存されるか、件名またはヘッダに SPAM マークが付いてメールが配信されます。

● 管理者が設定したメッセージフィルタ使用の選択

<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない	「使用する」を選択した場合、管理者が設定したキーワードがメールに含まれている場合に SPAMメールとして処理されます。
--	---

ここで「使用しない」を選択した場合でも、サーバ側で設定されている他のフィルタによって SPAM 判定されることや、接続を拒否したメールは届かないこともあります。「使用する」/「使用しない」を選択後、[保存]ボタンをクリックしてください。

5.2. SPAM メール自動判定フィルタ使用の選択

サーバに設置された SPAM メール自動判定フィルタを使用するかしないかを選択してください。

SPAM メール自動判定フィルタは、全世界からのレポーターから収集した情報を基に生成したデータベースにメールを照会して、SPAM メールかどうかを判定します。ヘッダ情報、本文データ、添付ファイルデータなどのメールから読み取れるデータを細分化して独自技術でデータベースに照会し、細分化されたデータをスコア方式で判定するので検知率が高いだけでなく誤検知も少ないという特徴を持っています。また、データベースの更新が頻繁に行われるため、新種の SPAM メールに対しても非常に有効です。「使用する」を選択した場合、届いたメールが SPAM メール自動判定フィルタによって SPAM 判定されると、SPAM フォルダに保存されるか、件名またはヘッダに SPAM マークが付いてメールが配信されます。

● SPAMメール自動判定フィルタ使用の選択

<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない	「使用する」を選択した場合、SPAM自動判定フィルタによりSPAMメールかどうか判定されて処理されます。
--	--

ここで「使用しない」を選択した場合でも、サーバ側で設定されている他のフィルタによって SPAM 判定されることや、接続を拒否したメールは届かないこともあります。「使用する」/「使用しない」を選択後、[保存]ボタンをクリックしてください。

以上